

セミナーQ & A

Q 1 教員養成セミナーは、教職に関心のある大学・短大1・2年次生が対象ですが、茨城県の教員になることを志望している3・4年次生のための講座やプロジェクトなどはありますか？

A 1 茨城県教育委員会では大学3年生以上を対象に「いばらき輝く教師塾」を開催しています。9月から12月までの土曜日のうち4日、学校での授業参観1日、計5日で実施しています。詳細については、こちらを参照してください。

<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/jyuku/>

Q 2 参加希望者が定員を超えた場合はどうなりますか。

A 2 募集の定員が120人となっています。定員を超えた場合には、受講者を選抜させていただきます。その際、大学2年生を優先します。また、希望者の少ない校種についてはできるだけ優先したいと思います。

Q 3 I期、II期を選ぶことはできますか。また、どのようにして決まるのでしょうか？

A 3 申込みの際に希望を伺い、希望を尊重しますが、必ずしも第1希望の期日になるとは限りません。例えば、I期の希望者が超過した場合、「II期でもよい」としていただいた方にII期にまわっていただく場合があります。

Q 4 集合場所の「県立歴史館」までのアクセスはどうしたらよいですか？

A 4 水戸駅から無料バスを運行します。

Q 5 県立歴史館から教育研修センターへの移動や、教育研修センターから各学校などへの移動方法は何ですか？

A 5 駅や会場間の移動は、すべて無料バスで移動します。また、セミナー終了後は、友部駅まで無料バスを運行します。

Q 6 自家用車で参加することはできますか？

A 6 可能です。申込みの際に申請してください。夜間は、教育研修センターの駐車場に駐車していただきます。ただし、第2日目の教育研修センターから体験会場校までの移動は、必ずバスで移動していただきます。

Q 7 原付バイクで行きたいのですが大丈夫でしょうか？

A 7 原動機付自転車での参加も可能です。気をつけてお越しください。ただし、歴史館から研修センターまでは、約20kmありますので、セミナー期間中の移動についてはご相談ください。

Q 8 初日の昼食は、受講者が自分で用意するのですか？

A 8 初日の昼食はセンターで弁当を用意します。
このほか、1日目の夕食、2日目の朝食はセンター食堂です。2日目の昼食はセンターで弁当を用意し、会場校で食べていただきます。

Q 9 宿泊は個室ですか？

A 9 宿泊室は原則1人部屋ですが、参加人数が多くなった場合、男性の方には和室（相部屋）への宿泊もあり得ます。教員の宿泊研修で使用する宿泊棟を利用します。トイレ・風呂は共同です。タオル、歯ブラシ等は各自で準備してください。宿泊費は無料です。

Q 10 受講を証明する文書は発行されますか？

A 10 終了後、受講者に修了証を発行する予定です。

Q 11 定員オーバーしてしまったら、大学や短大2年生を優先したりする、とQ&Aに書かれていましたが、2年生だけでもあふれてしまったらどういった基準で選抜されるのでしょうか？

A 11 先着順で決定します。

Q 12 セミナーを行う研修センターとはどのような場所ですか？

A 12 教育研修センターは、笠間市の郊外にある教職員の研修施設です。近くに北山公園などがある、緑豊かなところです。JR常磐線友部駅、JR水戸線宍戸駅からタクシーで約15分、北関東自動車道友部ICから約5分です。詳しくは、こちら(http://www.center.ibk.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=1436)を参照してください。

Q 13 セミナー中の服装はどのようにしたらよいのでしょうか？

A 13 1日目は、活動しやすい服装を準備してください。また、2日目は、小・中・特別支援学校は、現場体験を行いますので、ジャージ等動きやすい服装を準備してください。高校は、授業参観等が中心ですので、スーツ等の服装をお願いします。

Q 14 参加費用とは別に、用意すべきお金はありますか？

A 14 特にありません。教育研修センターでは、飲み物の自動販売機のみご利用いただけます。

Q 15 費用はどのようにお支払いすればよいですか？

A 15 当日徴収します。おつりのないよう、現金を持参してください。

Q 16 希望校種以外の学校の見学はできますか？

A 16 日程が限られていますので、希望校種を一つ選んで参加していただきます。校種は、大学の専攻に関わらず、自由に選ぶことができます。

Q 17 体験研修では具体的にどのようなことをするのですか？

A 17 授業参観の他、職員室体験、児童・生徒との交流、給食指導体験などを予定しています。

Q 18 養護教諭の仕事の見学も可能ですか？

A 18 見学できるよう調整します。

Q19 他の大学生とコミュニケーションがとれる機会はありますか？

A19 グループワークの班は、できるだけ同じ大学が集まらないようにします。演習やナイトセミナーで、大学の垣根を超えて、交流を深めてください。

Q20 教員にとって一番大切なことはなんですか？

A20 大切なことはたくさんありますので、今回参加する現職の教員に問いかけてみてください。また、自分にとって一番大切なことを決めることを今回の研修のテーマの一つとしたいと思います。